



2027年3月期 第1四半期決算短信（日本基準）（連結）

2026年7月28日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル

上場取引所 東

コード番号 4290 URL <https://www.prestigein.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員グループCEO (氏名) 玉上 進一

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営統括部 広報・IR部 IR担当 (氏名) 中村 哲也
当部長

TEL 03-5213-0826

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	18,173	8.7	2,271	17.4	2,352	16.9	1,173	15.9
2026年3月期第1四半期	16,723	11.1	1,934	11.9	2,012	20.6	1,013	28.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,685百万円 (75.6%) 2026年3月期第1四半期 960百万円 (△41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	9.41	9.38
2026年3月期第1四半期	7.99	7.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	84,299	52,781	57.5
2026年3月期	82,244	52,486	58.8

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 48,489百万円 2026年3月期 48,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,500	6.1	4,500	5.7	4,650	△0.7	2,750	3.3	22.05
通期	76,000	7.2	9,600	8.2	9,930	1.6	5,920	0.0	47.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	127,176,300 株	2026年3月期	127,176,300 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2027年3月期1Q	2,441,523 株	2026年3月期	2,441,523 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	124,734,777 株	2026年3月期1Q	126,725,977 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は2026年7月28日 (火) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

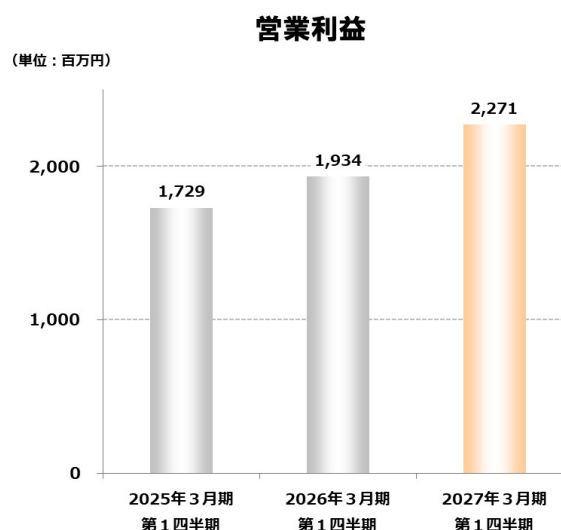
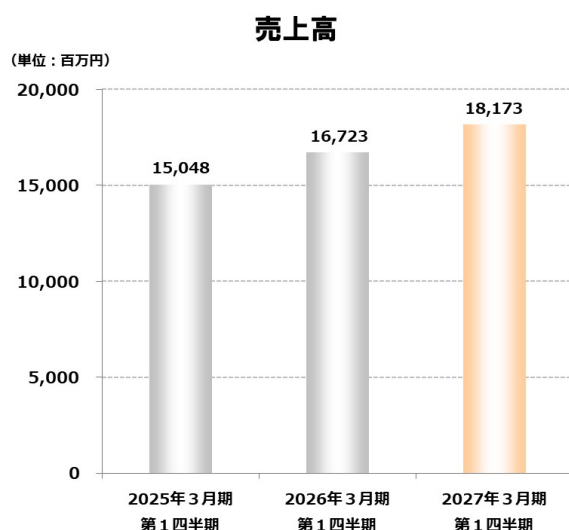
当第1四半期（2026年4月1日～2026年6月30日）における当社グループを取り巻く環境は、構造的な人手不足（労働需給のひっ迫）や物価上昇に伴う運営コストの増加が続くなか、クライアント企業において業務プロセスの外部化とコスト最適化を志向する動きが一段と強まっております。主要クライアントが属する自動車業界におきましては、新車販売に持ち直しの動きがみられる一方、為替動向や車両価格の上昇等を背景に車両保有の長期化が進んでおり、自動車保険の新規・切替機会の増加とロードアシスタンスサービスへの需要拡大が続いております。損害保険業界におきましては、自然災害の頻発化や保険料率の改定を背景に、事故対応をはじめとする周辺業務を専門性の高い外部事業者へ委ねる動きが広がっております。また、不動産業界におきましては、建築コストや金利の上昇を背景にマンション価格が高止まりし、新築分譲の供給・販売に弱さがみられる一方、既存ストックの経年化や管理業界の人手不足を背景に、入居者対応・アフターメンテナンス業務を外部の専門事業者へ委ねる動きが広がっております。こうした各業界の動きを背景に、当社グループが提供するBPOサービスへのニーズは一段と高まっております。

このような環境のもと、当社グループは「人ならではの高度な問題解決能力」の追求と、AI等のデジタル技術を活用したオペレーションの高度化・効率化を両輪として、クライアント企業への高品質なサービス提供に努めてまいりました。また、質の高いサービス提供の源泉となる人材の確保・定着を最重要課題と位置づけ、従業員の処遇改善を継続するとともに、2026年8月に稼働開始予定の「秋田BPO潟上キャンパス」の開設準備を着実に進めるなど、安定的な運営体制の構築を図っております。これらの取り組みに伴うコストの増加につきましては、デジタル技術の導入による業務効率化や、クライアント企業への適正な価格転嫁により吸収に努めております。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

連結売上高につきましては、既存業務の拡大や新規クライアント企業の獲得に加え、委託料改定の進展が寄与し、主力のオートモーティブ事業を中心にほぼ全ての事業セグメントで売上が伸長したことにより、前年同期比8.7%増の18,173百万円となりました。営業利益につきましては、オートモーティブ事業や金融保証事業の成長などにより、前年同期比17.4%増の2,271百万円となりました。経常利益につきましては、営業利益の増加により、前年同期比16.9%増の2,352百万円となりました。なお、営業外損益につきましては、為替差益44百万円を計上した一方、持分法による投資損失36百万円を計上しております。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期比15.9%増の1,173百万円となりました。

	前第1四半期	当第1四半期	参考 前連結会計年度
売上高	16,723百万円	18,173百万円	(前年同期比 8.7%増、1,449百万円増) 70,911百万円
営業利益	1,934百万円	2,271百万円	(前年同期比 17.4%増、 336百万円増) 8,869百万円
経常利益	2,012百万円	2,352百万円	(前年同期比 16.9%増、 340百万円増) 9,772百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,013百万円	1,173百万円	(前年同期比 15.9%増、 160百万円増) 5,920百万円
1株当たり 四半期純利益	7.99円	9.41円	46.97円



● オートモーティブ事業

主に損害保険会社や自動車メーカー向けロードサービス等を提供しているオートモーティブ事業は、既存クライアント企業の業務拡大や、新規事業が順調に推移したことにより増収となりました。営業利益につきましては、前期に支払単価を引き上げた協力会社への外注費が上昇したものの、クライアント企業に対しての委託料改定や新規事業開始の効果により、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	6,929百万円	7,412百万円
営業利益	669百万円	779百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	482百万円	7.0%
営業利益	109百万円	16.4%

● プロパティ事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての修繕とコインパーキングのメンテナンス等を提供するプロパティ事業は、対象賃貸戸数の増加や、既存クライアント企業の業務拡大もあり、増収となりました。営業利益につきましては、前期より行っていたパークアシスト事業のクライアント企業への委託料交渉がまとまり収益が改善し、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	2,356百万円	2,605百万円
営業利益	147百万円	226百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	249百万円	10.6%
営業利益	78百万円	53.5%

● グローバル事業

海外旅行保険のクレームエージェント、駐在員向けの医療サポート（ヘルスケアプログラム）業務等を行うグローバル事業は、主力のヘルスケアプログラムの新規クライアント企業の獲得が堅調に拡大したことに加え、米国での日本人駐在員向け現地発行クレジットカードの会員数も伸長し売上に寄与しました。営業利益につきましては、売上の増加と共に、ドル決済の米国クレジットカードによる円安ドル高の影響もあり、増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	2,458百万円	2,632百万円
営業利益	293百万円	384百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	173百万円	7.1%
営業利益	91百万円	31.0%

● カスタマー事業

カスタマーサポートサービスを展開しているカスタマー事業は、既存クライアント企業の取捨選択も一巡し、売上利益ともに前年同期と同水準で推移しております。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	1,671百万円	1,632百万円
営業利益	244百万円	245百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△38百万円	△2.3%
営業利益	0百万円	0.3%

● 金融保証事業

家賃や医療費等、生活に関わる金融保証サービスを提供する金融保証事業は、グループ会社の株式会社イントラスト（証券コード：7191）が展開する家賃債務保証事業の契約件数が引き続き好調に推移したことに加え、医療費用保証事業と介護費用保証事業につきましても順調に契約数が伸長いたしました。また、前期に連結子会社化したキャロルシステム株式会社も貢献し、全体として増収増益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	2,882百万円	3,455百万円
営業利益	660百万円	772百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	573百万円	19.9%
営業利益	112百万円	17.1%

● IT事業

ITソリューションを提供するIT事業は、システム開発に関わるエンジニアへの先行投資により、減収減益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	247百万円	231百万円
営業利益	36百万円	7百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	△16百万円	△6.5%
営業利益	△28百万円	△78.5%

● ソーシャル事業

女子スポーツチーム「アランマーレ」の運営、保育事業及び地方創生事業を行うソーシャル事業は、女子スポーツチーム「アランマーレ」の認知度向上によるスポンサー収入の増加により増収となりました。営業利益につきましては、スポーツ事業における体制・戦力強化を目的とした人件費の増加などがあり減益となりました。

	前第1四半期	当第1四半期
売上高	178百万円	203百万円
営業利益	△117百万円	△125百万円
(増減)	(金額)	(率)
売上高	25百万円	14.0%
営業利益	△7百万円	—

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期末における総資産は、84,299百万円となり前連結会計年度末に比べ2,055百万円の増加となりました。流動資産は、現金及び預金が1,922百万円増加、流動資産のその他が485百万円増加いたしました。これらにより流動資産合計では前連結会計年度末より2,493百万円増加し、49,123百万円となりました。固定資産は、有形固定資産のその他が394百万円減少、無形固定資産のその他が95百万円増加し、固定資産合計では前連結会計年度末より438百万円減少し、35,176百万円となりました。

負債に関しましては、短期借入金が1,700百万円増加、契約負債が532百万円増加、未払法人税等が857百万円減少いたしました。この結果、負債合計では前連結会計年度末より1,760百万円増加し、31,518百万円となりました。

また、純資産については、2026年6月に配当の支払いが発生いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益が1,173百万円となったため、前連結会計年度末に比べ294百万円増加し、52,781百万円となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,072,724	29,995,483
売掛金	6,588,395	6,701,292
立替金	11,293,423	11,476,321
商品及び製品	143,333	125,686
仕掛品	174,089	195,962
原材料及び貯蔵品	112,551	127,286
その他	3,652,482	4,137,696
貸倒引当金	△3,407,611	△3,636,705
流動資産合計	46,629,387	49,123,023
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,489,232	13,345,730
その他（純額）	6,458,292	6,063,760
有形固定資産合計	19,947,525	19,409,490
無形固定資産		
のれん	512,747	489,603
その他	3,252,961	3,348,304
無形固定資産合計	3,765,708	3,837,907
投資その他の資産		
投資有価証券	10,610,014	10,764,019
その他	1,362,668	1,235,109
貸倒引当金	△71,069	△69,882
投資その他の資産合計	11,901,613	11,929,246
固定資産合計	35,614,847	35,176,644
資産合計	82,244,235	84,299,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,206	1,720,636
短期借入金	6,000,000	7,700,000
未払法人税等	1,720,323	863,175
契約負債	4,689,427	5,222,163
賞与引当金	1,220,777	776,523
保証履行引当金	868,226	864,957
その他	10,682,712	11,223,270
流動負債合計	26,826,673	28,370,727
固定負債		
退職給付に係る負債	36,831	38,829
資産除去債務	2,220,536	2,244,448
その他	673,727	864,321
固定負債合計	2,931,095	3,147,600
負債合計	29,757,769	31,518,327
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,601,210	1,601,210
資本剰余金	2,700,918	2,959,394
利益剰余金	41,480,089	41,032,328
自己株式	△1,647,132	△1,647,132
株主資本合計	44,135,085	43,945,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	962,813	1,128,535
為替換算調整勘定	3,264,265	3,415,317
その他の包括利益累計額合計	4,227,079	4,543,853
新株予約権	274,537	276,125
非支配株主持分	3,849,764	4,015,561
純資産合計	52,486,466	52,781,340
負債純資産合計	82,244,235	84,299,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,723,925	18,173,110
売上原価	13,257,312	14,244,392
売上総利益	3,466,612	3,928,718
販売費及び一般管理費	1,531,748	1,657,342
営業利益	1,934,863	2,271,376
営業外収益		
受取利息	9,149	11,447
有価証券利息	72,021	91,003
受取配当金	3,803	4,749
為替差益	59,564	44,493
その他	14,417	14,918
営業外収益合計	158,955	166,612
営業外費用		
支払利息	5,139	20,276
持分法による投資損失	57,281	36,062
その他	19,361	29,403
営業外費用合計	81,782	85,742
経常利益	2,012,036	2,352,246
特別利益		
固定資産売却益	1,640	—
投資有価証券売却益	961	13,068
工事負担金等受入額	—	10,000
その他	—	2,427
特別利益合計	2,602	25,496
特別損失		
固定資産除却損	—	8,839
固定資産圧縮損	—	12,133
特別損失合計	—	20,973
税金等調整前四半期純利益	2,014,638	2,356,769
法人税、住民税及び事業税	761,545	689,875
法人税等調整額	61,174	283,082
法人税等合計	822,719	972,958
四半期純利益	1,191,919	1,383,811
非支配株主に帰属する四半期純利益	178,810	210,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013,109	1,173,805

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,191,919	1,383,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△154,562	150,549
為替換算調整勘定	△77,356	151,052
その他の包括利益合計	△231,919	301,602
四半期包括利益	960,000	1,685,413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	780,316	1,490,579
非支配株主に係る四半期包括利益	179,684	194,833

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州・欧州	アジア・ オセアニア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,514,662	772,397	436,865	16,723,925	—	16,723,925
セグメント間の内部 売上高又は振替高	426,669	184,788	217,898	829,355	(829,355)	—
計	15,941,331	957,185	654,763	17,553,280	(829,355)	16,723,925
セグメント利益	2,183,336	158,597	121,281	2,463,215	(528,352)	1,934,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,463,215
セグメント間取引消去	△300,741
全社費用(注)	△227,610
四半期連結損益計算書の営業利益	1,934,863

(注) 全社費用は、グループ管理にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州・欧州	アジア・ オセアニア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,894,813	891,018	387,278	18,173,110	—	18,173,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,042,673	267,318	357,370	1,667,361	(1,667,361)	—
計	17,937,486	1,158,336	744,649	19,840,472	(1,667,361)	18,173,110
セグメント利益	3,066,111	248,141	149,436	3,463,689	(1,192,312)	2,271,376

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,463,689
セグメント間取引消去	△970,975
全社費用（注）	△221,337
四半期連結損益計算書の営業利益	2,271,376

（注）全社費用は、グループ管理にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	582,188千円	632,172千円
のれんの償却額	13,271	23,144